

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課
 担当名：下保 修

事業名	とくしまかんじょうせん しんはまはちまん 主要地方道 徳島環状線（新浜八万工区）		事業区分	地方道	事業主体	徳島県
起終点	とくしま しんはま 自：徳島県徳島市新浜町 とくしま はちまん 至：徳島県徳島市八万町		延長	2.0 km		
事業概要	主要地方道徳島環状線は、徳島市国府町を起点とし、徳島市八万町に至る、延長約25kmの主要幹線道路である。新浜～八万工区は、四国縦貫道・横断道・国道192号徳島南環状道路と共に地域高規格道路「徳島環状道路」を形成し、地域の連携強化を図り、慢性的な徳島市内の渋滞を解消し、徳島市及び周辺地域の交通円滑化に資する基幹的な社会基盤である。					
H9年度事業化	H7年度都市計画決定		H9年度用地着手		H9年度工事着手	
全体事業費	390億円		事業進捗率	56%		供用済延長
計画交通量	19,500台/日（本線）、22,800台/日（側道）					
費用対効果分析結果	B/C: (事業全体) 1.4 (残事業) 4.3	総費用: (残事業)/(事業全体) 134/399億円 (事業費:126/391億円 維持管理費:7.8/7.8億円)	総便益: (残事業)/(事業全体) 582/582億円 (走行時間短縮便益:498/498億円 走行費用減少便益:61/61億円 交通事故減少便益:23/23億円)	基準年: 平成18年		
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 交通量変動: B/C=1.48 (交通量+10%) B/C=1.46 (交通量-10%) 事業費変動: B/C=1.43 (事業費+10%) B/C=1.52 (事業費-10%)					
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（渋滞損失解消時間542.7千入時/年） ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路に位置づけられている。平成8年8月） 他7項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	徳島環状道路建設促進期成同盟会が設立され、徳島環状線の整備促進、道路特定財源の確保等について、機会あるごとに国及び関係機関に対して積極的な要望活動が続けられている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	大型店舗の新規立地等のため、新浜地区、八万地区における交通渋滞はますます深刻化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収は、面積比率で91%まで進捗しており、随時道路の切替を行いながら側道の施工を実施している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残用地の買収を実施し、今後は本工事を促進し、平成23年度には側道の供用を図る。					
施設の構造や工法の変更等	特になし。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。